



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会 2009年（平成21年）12月25日号 No. 1483

目次

■大統領選前夜のキエフを訪問して	服部 倫卓 1
■トピックス	11
JOGMEC、ロシア石油会社と経済性評価／11	
日本・カザフ租税条約が発効／12	
川重がトルクメンで肥料設備を受注／12	
グルジアに対する円借款の供与／12	
■エトセトラ	12
シンガポールにおける「ロシア穀物セミナー」のご案内／12	
『調査月報』2010年1月号のご案内／13	

大統領選前夜のキエフを訪問して

ロシアNIS経済研究所 次長
服部 倫卓

はじめに

2010年1月17日、ウクライナ大統領選挙の投票が実施される。それを1ヵ月後に控えた12月16日から19日にかけて、首都キエフで現地調査を実施する機会を得た。ごく短い滞在ではあったが、日本大使館や現地日系企業の方々と懇談する機会も得られ、現地の様子や雰囲気は掴めたと思う。

思えばウクライナの2009年は、年初のロシアとの「ガス戦争」、深刻な経済不振、そして大統領選を前にした政局の混迷と、慌しく過ぎ去った1年であった。激動の2009年を終え、首都キエフはどのような表情を見せているのか。そして、来たる選挙で国民は何を選択し、ウクライナはどこに向かうのか？ キエフでの見聞を中心に、報告する。

ウクライナ語を勉強し始めた商社マンたち

いきなり脇道に逸れるようで恐縮であるが、今回のキエフ出張では、この国を知るうえでのウクライナ語の意義について、改めて考えさせられた。

先般、我が国で『ニューエクスプレス ウクライナ語』という入門書が発行され、私は同書に関する書評を『ロシアNIS調査月報』の2009年12月号で書いている。その時の基調は、